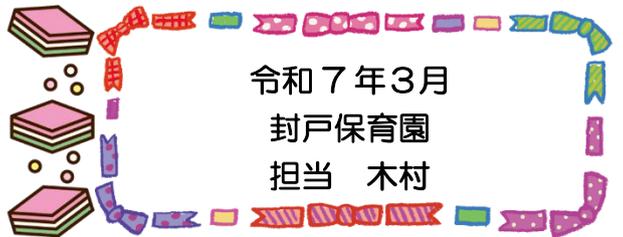




3がつの

ほけんだより



令和7年3月

封戸保育園

担当 木村

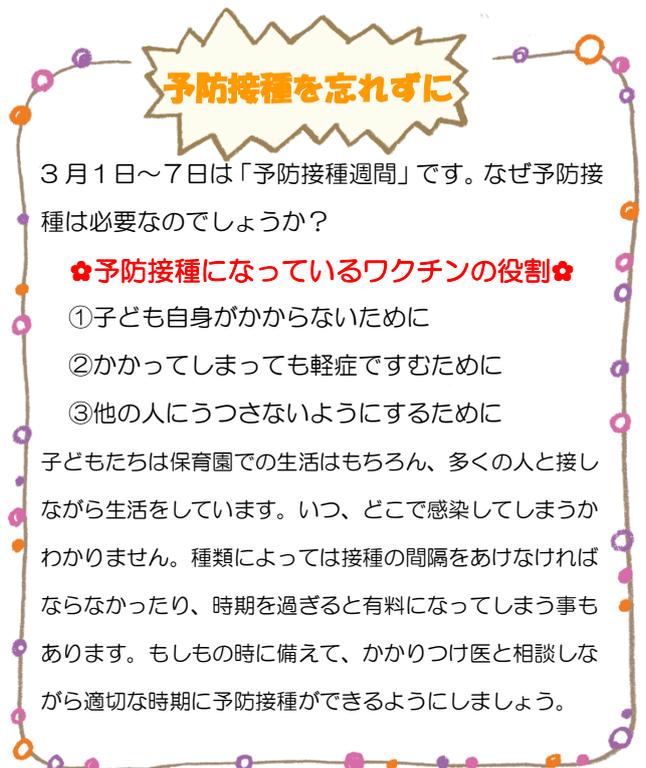
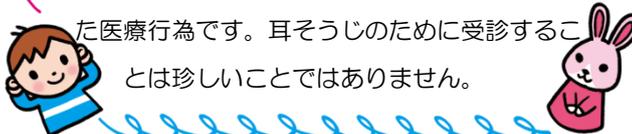
たくさんの思い出でいっぱいとなった1年も締めくくりの時期となりました。4月の頃に比べ、心も体も大きく成長した子どもたち。この1年間をお子さんと一緒にふりかえるとともに、4月から新たな気持ちでスタートを切れるように、予防接種の見直しや虫歯など治療が必要なことは早めに済ませておきましょう。



～3月3日は耳の日～

☆子どもの耳は耳そうじが大変☆

耳の穴が小さく、中が見づらく耳そうじが難しい・また耳の中は皮膚が敏感なため子どもが嫌がり動いて中を傷つけることがあります。普段の耳のケアはお風呂上がりに耳の入り口を綿棒でぬぐうだけでOKです。綿棒を奥に入れてしまうと、耳あかを奥に押し込んでしまうことになります。耳あかを放置すると耳垢塞栓などの病気を発症することもあるので定期的な耳のチェックが大切です。耳そうじが難しいときは耳鼻咽喉科に相談しましょう。耳そうじは保険診療で認められた医療行為です。耳そうじのために受診することは珍しいことではありません。



予防接種を忘れずに

3月1日～7日は「予防接種週間」です。なぜ予防接種は必要なのでしょう？

☆予防接種になっているワクチンの役割☆

- ①子ども自身がかからないために
- ②かかっても軽症ですむために
- ③他の人にうつさないようにするために

子どもたちは保育園での生活はもちろん、多くの人と接しながら生活をしています。いつ、どこで感染してしまうかわかりません。種類によっては接種の間隔をあげなければならなかったり、時期を過ぎると有料になってしまう事もあります。もしもの時に備えて、かかりつけ医と相談しながら適切な時期に予防接種ができるようにしましょう。

進級・就学を控えて 気持ちが不安定になる時期です

新年度を控え、多くの子どもたちが「1つ大きくなる」という喜びでいっぱいな時期です。ただ、なかには、大人の期待を過剰に受け止めて、気持ちが不安定になる子どももいます。今までなかったのに、急に次のような様子が見られたら何かストレスに感じていることがないか、注意してゆっくり話を聞いてあげてください。おうちの方の優しい声掛けが一番のお薬です。

子どもに見られるストレスのサイン

- ・指しゃぶり、爪かみ
- ・言葉が出にくい（どもりなど）
- ・チック（目をばちばちさせる、咳払い、肩をびくっと動かす、など）



☆衣替え・サイズもチェック!☆

0～6歳までは、一生で最も成長が速い時期。衣替えのついでに、衣服や靴のサイズをチェックして、きつくないか確かめましょう。また、ズボンのすそが長すぎると転びやすいですし、袖が長いと転んだ時にとっさに手がつきにくく、思いがけず大けがをすることもあります。子どもの体格に合わせて縫い上げをお願いします。また身長だけでなく、太ももやおしりなど体格に合わせて動きやすい衣服を選んであげましょう。

☆2月の園の様子☆ 冬らしい寒さが続きました。

園内ではインフルエンザなどの感染症や、突然の高熱や胃腸炎などでの欠席がみられています。そして早いもので今年度最後の月となりました。保護者の皆さまには、健診や検査、園における感染症予防へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。いつも元気いっぱい笑顔があふれていた月組の皆さん、小学校でも元気に楽しく過ごしてくださいね。皆様のご健康とご活躍をお祈りしています。